

職員力を生かし、
安定した行政サービス
を維持せよ！



栗原 収
議員

問

長年改定を行わなかったことから、本市非正規雇用職員の賃金レベルは民間より低くなってきている。市民サービス維持のため見直すべきではないか。

総務部長

景気の拡大に伴い民間企業では非正規職員の賃金が増加傾向にあり、有効求人倍率も高水準で推移している。補助・嘱託職員は市の業務に必要な存在であり、市政運営に影響が出ないよう、民間企業等の動向などを考慮しつつ引き続き人材の確保に努めていきたい。

◆女性職員の活躍推進

問

女性職員の活躍を加速するために、さらなる男性職員の意識啓発が求められる。各種ハラスメントの防止等、課題解決に向けた具体的方策を聞きたい。

総務部長

男性職員の育児参加を進めることが、さまざまな立場の職員の相互理解につながる。ハラスメントが発生する要因として、それぞれの立場を理解することが不十分と考えられるため、男性職員の育児参加等を契機とし、お互いに思いやれる職場風土の醸成に努めたい。



医療費削減施策とともに
こども医療費現物給付化の
検討を！



末吉 利啓
議員

問

中学校3年生までのこども医療費の現物給付については、本市議会でも会派を超えて主張している。持続可能な制度とするため、家庭医療を勉強する機会をふやすなど医療費削減の施策とセットで考え、検討すべきではないか。

市長

現物給付にすることで、他の分野にしわ寄せがいき負担が生じるという想像力をなくすこと、あるいはコンビニ受診が我々の懸念であるとすれば、家庭医療の教育とセットで制度を考えていくことは有効だと思っており、これからの議論の中で検討していきたい。

◆田嶋草雲

問

田嶋草雲は足利学校や鏝阿寺など、現在の歴史観光都市足利の宝を激動の明治期に守り抜いた恩人であるが、そうした偉業を今後どのように顕彰していくのか。

教育次長

現在は小学4年生の副読本で草雲について紹介しているが、今後は特に子供たちにも草雲の偉業に興味・関心を持ってもらえるようなパンフレットを作成し、広く活用していく。



▲草雲美術館

斎場の
再整備について聞う！



西田 智男
議員

問

斎場再整備基本構想が策定され、同構想をもとに計画的に建て替えに向けた作業を進めていると思うが、今後の見通しをどのように考えているのか。

市長

何よりも地元の皆様のご理解とご協力を進めることはできず、まずは説明会を開催している。今後は斎場整備基本計画の内容やPFI方式をはじめとする民間活力の導入について、議会や地元の方々等の幅広いご意見を聞きながら取り組んでいく。



▲斎場

◆道路の冠水対策

問

台風や集中豪雨の際、千歳地区（岩井橋通り）で発生する道路の冠水により、宅地まで雨水が流入している地域がある。現在対策を調査中と聞いているが、今後の対応を聞きたい。

都市建設部長

同地区の冠水箇所周辺については、全ての排水溝の清掃等を実施した。また、同地区の排水能力を上げるため、平成29年度末までに排水管路の新設工事を実施する予定である。今後は実施した対応策を検証し、より効果的な改善策を検討していく。